

京丹後市地域おこし協力隊 令和元年度活動報告会

～地域の課題と魅力～

令和2年2月17日
京丹後市役所

地域づくりの現場に携わる人たちが集い、学習や交流を通じた課題の共有や参加者同士の新たなネットワークの構築など、京丹後市における地域づくり、まちづくりの機運を高めるとともに、参加者の今後の活動の輪を広げることを目的に、京丹後市地域おこし協力隊の活動報告会を実施します。

当日は、京丹後市内で活動する6人の地域おこし協力隊が、個性を活かした日々の活動内容や、活動の中で感じている地域の課題と魅力、任期終了後の展望などについて報告を行います。

1 概要

日時 令和2年2月24日（月・祝）14:00～16:00
場所 アグリセンター大宮 多目的ホール（京丹後市大宮町）

2 当日の流れ

- 開会挨拶（三崎市長）
- オープニング 「地域おこし協力隊について」
- 活動紹介のプレゼンテーション（7分×6名）

| 氏名 | 活動場所 | 報告テーマ |
|-------|----------|-------------------------|
| 関 奈央弥 | 峰山町五箇地域 | 五箇プロジェクトの活動とこれからの展開 |
| 中川 圭 | 大宮町五十河地域 | 「古き良き」と「新しき良き」の融合した場の創出 |
| 八隅 孝治 | 網野町 | 移住して気づいたこと、今後の展望について |
| 大木 史帆 | 丹後町 | 丹後町の衣食住 |
| 稲本 真也 | 弥栄町野間地域 | 森林保全と木材活用 |
| 吉田 浩士 | 久美浜町 | 蒲井旭での取り組み、観光漁業 |

- トークセッション（40分）
- 閉会

※ コーディネート：一般社団法人丹後暮らし探求舎 代表理事 坂田真慶氏

3 問い合わせ

市長公室政策企画課（TEL0772-69-0120）

京丹後市

令和元年度

地域おこし協力隊 活動報告会

地域づくりの活動の輪を広げることを目的に、担当エリアの異なる6人の隊員が個性を活かした日々の活動内容や、活動の中で感じている地域の課題と魅力、任期終了後の展望などについて報告を行います。

これからの地域づくりの可能性について参加者の皆さまと共に想いを深める一日にできればと考えています。協力隊の活動に興味のある方、地域づくりに取り組んでいる方など多くの方のご参加をお待ちしております。



プログラム

- ① 各地域の隊員による活動紹介プレゼンテーション
- ② 地域おこし協力隊トークセッション ～地域の課題と魅力～

コーディネーター

坂田 真慶 (一社) 丹後暮らし探求舎 代表理事

令和2年2月24日(月・祝) 14:00~16:00 ※開場 13:30

アグリセンター大宮 多目的ホール

入場無料
事前申込不要

主催：京丹後市

お問い合わせ：京丹後市政策企画課 0772-69-0120

地域おこし協力隊プロフィール



峰山町

関 奈央弥

平成30年7月着任

出身：京丹後市

大きく分けて、地域づくりの取組みと、丹後の食環境を活かした取組みを行なっています。

地域づくりの取組みでは、「五箇プロジェクト」という任意団体を立ち上げ、地域の5人の有志メンバーを中心に、ワークショップや講演会の開催、サイクリングツアー事業の立ち上げ等、自分たちの理想の地域を目指し、長い目で見た取組みを行っています。

食の取組みでは、管理栄養士としての今までの食の経験やスキルを活かし、米作りを中心とした食の体験プログラム、栄養カウンセリングや食育セミナーの開催、加工品の商品開発等、丹後の食環境を活かした取組みを行っています。

五箇地域の古民家を改修した食の拠点づくり構想の実現にも向けて動いています。



大宮町

中川 圭

平成30年7月着任

出身：秋田県

五十河地域を拠点に、「古き良き」と「新しき良き」が融合し、自然と人に優しい持続可能な循環型の生活を目指した場づくりを行っています。

これからの時代に必要な知恵や技術を学び、実践し、自分たちの手で暮らし・文化を創っていく場を五十河地域でチャレンジ中です。

地元へ根差した方々の力強い「土」の力と、広い視野を持った外からの方々の「風」の力が融合し、新たな「風土」を育み、新たな時代への「村のカタチ」「生き方のカタチ」などを創造していきたいと思っています。

村作業などに参加しながら五十河地域の魅力の情報発信も行っています。



網野町

八隅 孝治

令和元年11月着任

出身：京都市

家族4人で京都市から網野町に引っ越してきました。まだ着任し、間もないことから、現在は、様々なイベントや会議などに顔を出させていただき、情報を集めています。

メインミッションは「スポーツ・観光・歴史資源を組み合わせた地域活性化活動」ということで、是非、京丹後市網野町にある素晴らしい自然環境を生かしたイベントなどを考えていきたいと思っています。

合わせて、「京丹後市や、田舎に興味を持ってほしい。興味のある人はぜひ来てほしい。そして住んでくれたらもっと嬉しい！」そう思い、京都市から網野町へ移住したことで気づく、田舎の素晴らしいところや、移住のリアルな体験を自身のブログ『カガヤクトコロ』kagayaku-tokoro.comにて紹介しています。



丹後町

大木 史帆

平成30年11月着任

出身：京丹後市

私は着任する前、大阪で丹後の食材を使ってお店をしていました。大好きな丹後をアピールするため、日々暮らす中での小さな出来事や、感じる事など、京丹後市外の人に届けたく、地元に住みながら京丹後市外にも行き、直接伝えて何かを感じてくれた方々が、足を運んでもらうきっかけとなるよう活動させてもらっています。

まず一年目は丹後町の人々の暮らしぶりを知るため、宇川を中心に活動させてもらいました。二年目は個人で購入した（これから改装）空き家を活用し「衣・食・住」が体験出来る田舎のシンプルな暮らしの発信や、体験できる場所を作っていくと妄想中。来てくれた方が、地元の人と交流がもてるような場所になればと考えています！



弥栄町

稲本 真也

平成30年7月着任

出身：和歌山県

2019年に製作した「モバイルハウス」が話題になり、各種メディアにも取り上げていただきました。

森林保全のための木材活用をミッションだと捉え、山が資源として循環する仕組みを作りたいと考えています。

地方には眠っている資源がたくさんあります。その資源の活かし方を模索していくことが、地域おこし協力隊の役割の一つだと感じています。

※軽トラックの荷台に小さな小屋を載せたもの。キャンピングカーや移動販売車として使うことが可能です。近年のDIYや車中泊ブームの影響で、全国的に流行っています。



久美浜町

吉田 浩士

令和元年7月着任

出身：兵庫県

地元住民で運営している濱井・畑地域の活性化事業に参加しています。シーカヤック、牡蠣小屋を通じて地元住民との相互理解を図り、将来的に起業を探索中です。

今後は「観光漁業」をテーマに海と触れ合う体験を事業化することが目標です。4年目を迎えたカヤック事業も客数の面で前年超えを達成していますが、インストラクターの確保等課題もあります。

課題解決や事業展開の過程で地域への知見を深めつつ起業プランを練りたいと思っています。

小天橋を挟み日本海、久美浜湾と隣接する地区は多品種の水産物があり、コノシロ寿司などの特産品が生産されています。それら水産物を活用した製品作りを展開出来ればと思っています。